

12月25日(金曜日)「ことばは人となって」

【新改訳 2017】

ヨハネ 1・14

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。」

きょうはクリスマス、すなわちイエス・キリストの誕生日です。おめでとうございます。主のご降誕を祝うことは三世紀ごろから守られており、十二月二十五日のお祝いの最古の記録は、三百三十六年と言われます。

ことばは表現の手段ですが、ここでは、神の啓示の手段としてのことばと、神の表現としてのイエス・キリストが同時に意味されています。

ナザレのイエスは、神がご自身を現されたお方であり、神のひとり子としての栄光であり、神が人類を愛し、救うための道を備えるという、神の恵みと真実を明らかに、豊かにしているメシヤ(救い主)であるということです。

今年のクリスマスが、どうか、神の栄光と恵みとまこととを

見るお祝いとなりますように。

～祈り～

主イエスさま。神の御子でいらっしゃるあなたが、人の子としてお生まれになった記念のこの日を、心から感謝し、お祝い申し上げます。救い主として御名をほめたたえます。

【学びのために】

クリスマス:英語では「キリスト祭、キリストのミサ儀式」などの意味。イエス・キリストの降誕日の祝祭。3 世紀の初めの頃は五月二十日と推測され、4 世紀後半には毎年祝われるようになりました。12 月 25 日については本文参照。東方教会では、1 月 6 日の顕現日に行われます。「日」よりも「事実」が重要。